

K S K Q かがやき

編集人
社会福祉法人
かがやき神戸を支援する会

<https://kagayaki-kobe.jp>

- 目次
- P1「理事長の挨拶」
 - P2「第48次国会請願署名報告」
 - P3「新しい職員がやってきた！
／新グループホーム紹介（わいずホーム）」
 - P4.5「かがやき神戸に出会って」
 - P6「夢ホームへの道part13
／法人・支援する会の動き」
 - P7「支援する会たより」
 - P8「会費を納入頂いた方・お願い・編集後記」

公平な配分を

社会福祉法人かがやき神戸 理事長 松原 建二



皆さまのお手元にこの便りが届くころには、暑い日が続く夏真っ盛りのころと思いますがいかがお過ごしでしょうか。

さて、6月2日に「障害者自立支援法訴訟基本合意15周年フォーラム」が開催されました。「障害者自立支援法訴訟」は、2005年に施行された「障害者自立支援法」に対し、障害のある方々や支援者たちが全国で声を上げた裁判です。この法律は、福祉サービスの利用に際して「応益負担、受けた分だけ費用を負担する」という原則を導入し、一律に原則1割の自己負担を課す制度でした。その影響は大きく、重度障害者や経済的に困難な状況にある方々にとっては、日常生活や尊厳そのものを脅かすものとなりました。こうした状況に対し、障害当事者と支援者が立ち上がり、各地で訴訟が提起されました。私たち「かがやき神戸」からも3名の原告が参加し、法人としても全面的に支援を行いました。訴訟は最終的に、国と「基本合意文書」を交わすことで、原告側の実質的な勝利和解という形で終結を迎えました。その結果、最大の問題であった応益負担については、一部の人を除き負担が0円になりました。

今回のフォーラムには、厚生労働省や子ども家庭庁も参加し、行政側からは制度の進展と改善について報告がありました。一方、元原告からは「何も進展していない」との声もあり、対照的な意見が示されました。これに対し、きょうされん専務理事の藤井氏は、「表面的には変わっているが、

芯のところは変わっていない」と指摘され、制度の本質的な改善にはなお多くの課題が残されていることを強調されました。実際、この15年の間にさまざまな制度が整備されたとはいえ、障がいのある人々が安心して暮らせる社会が実現されていると感じることはできません。むしろ事業所の運営は年々厳しくなり、十分な支援をするのが難しい状況になっています。

フォーラムでは、「かがやき神戸」の元原告であり補佐人を務める吉本裕子さんが、心に残る発言をされました。その一部をご紹介します。

「検証会議を終えた時にいつも思うことがあります。『限りある予算を他との公平性を考えて配分していかなければならない』と毎回担当役員の方がおっしゃいます。ここ数年国の予算の使い方について色んな情報が出ています。議員さん、官僚の皆さん、自分の胸に手を当ててよく考えてください。本当に公平に配分していると、胸を張って言えますか？自分の欲や身近な利権絡みのところに優位な配分をしていませんか？いつもスッキリせずにニュースを見ている。」

本稿を執筆している6月現在、7月に予定されている参議院選挙の結果はまだ明らかになっておりませんが、弱い立場にある人々の声を真摯に受けとめ、その権利を守る政治の実現に向けて、私たち自身も関心と行動を続けていく必要があると、あらためて感じました。

国会請願署名に未来を託して！！

みんなで協力して集めた国会請願署名を、兵庫支部代表として、霞が関議員会館まで届けに行ってきました。全国から集まった有志が一同に集まり、当日の行動確認と決起会の後に兵庫支部では3班に分かれて開始しました。「障害者の方の住みよい生活」に貢献できるよう、多くの議員の方に思いを届けたかったのですが、あいにく議員の方は多忙という状況でした。私自身は秘書の方3名に国会請願署名をお渡しし、利用者からの要望である「障害者年金の底上げ」をお伝えしました。

一日の活動で感じたことは、事前に議員の方に要請していてもアポイントをとることが難しく、議員の方ではなく秘書の方だけの面会で終わったことは少し残念です。党の方針として署名の受け取りを拒否しているケースもあり、みんなの声を届けるだけでも壁があることを痛感しました。それでも話を聞いて下さった議員の方、秘書の方に感謝するとともに、未来に向けて少しでもいい方向に進むことを願った一日でした。

なでしこの里 圓井広美



立憲民主党、井高議員に
国会請願署名を手渡し



全国から集まった
みんなと一緒に。
さあ、がんばろう！！



活動の後に、兵庫支部の皆
さんと。お疲れ様でした

第48次国会請願署名活動にご支援、ご協力ありがとうございました

今回も「優生保護法問題の全面解決」や「障害のある人の生活水準を他の人との平等を基礎とすること」、「事業所への基本報酬の大幅な改善」などを請願項目に掲げ、たくさんの人に署名や募金を訴えてきました。署名数はかがやき北で2,376筆、かがやき西で940筆になり、昨年を上回りました。兵庫支部全体としても5月末現在で署名16,244筆、募金581,658円になり、署名数は昨年を大きく上回りました。

今回、署名や募金をいただいた方、活動を広めていただいた方に感謝申し上げます。今回の請願項目は、解決までに時間がかかるものが多いですが、少しでも福祉情勢が好転するように粘り強く活動を続けていきたいと思います。

つくしんぼ 山本隆文



5月1日メーデーでの
署名活動のようす

新しい職員がやってきた！～新人職員紹介～

にしこうべ障害者相談支援センター
有光 友佳（ありみつ ゆか）さん

昨年12月から、にしこうべ障害者相談支援センターで相談支援員をしております、有光 友佳と申します。

日々の業務を通し、皆さまとの繋がりを感じています。人との繋がりが独りではなく沢山のひとと生きていると感じる瞬間があります。電話や訪問、来所等の相談業務を通し、聴く事の大切さに気付かされ、支援センターが相談しやすい場所になるように心がけて参ります。これからも、利用者さんのサインをキャッチできる相談支援員でありたい。仲間と共に互いに気づき、出会いが多くの支援につながるように活動していきたいと思います。



多機能型つくしんぼ 松岡 楓佳（まつおか ふるか）さん

この度、4月よりつくしんぼにて常勤として勤務を開始いたしました、松岡楓佳です。ヨルシカが好きなので、もしお話しできる機会があれば嬉しいです。大学では心理学を専攻しており、発達心理学の講義をきっかけに障がいのある方々の支援に関心を持つようになりました。

これまで介助経験が無く至らない点も多いかと思いますが、日々勉強しながら少しずつ成長していけるよう努力してまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



かがやき神戸のグループホームが増えました！～わいず～

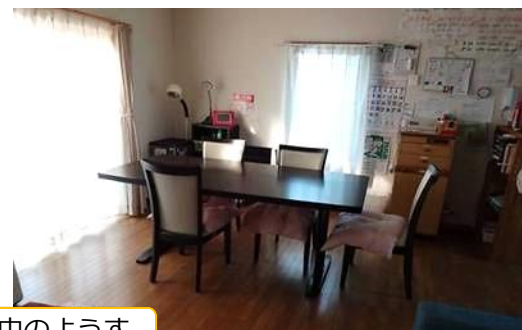
2025年の4月から新たに「わいずホーム」と言うグループホームが仲間入りになりました。既にあるグループホームと同じように既存の一戸建て住宅をグループホームにした建物となります。バス停がすぐ目の前にあり、交通アクセスは抜群なのも大きな特徴です。元々はかがやき神戸とは別の法人が運営していましたが、ご縁がありこの度5つ目のグループホームとしてスタートとなりました。

これまで利用者さんがご家族と共に過ごしてきた生活の場を、グループホームに移れば最初は環境が変わるので不安な事もあります。しかし、様々な支援を受けながら生活が出来る住まいはご本人やご家族にとっても安心できる場所だと考えています。住み慣れた地域で過ごせる環境があればお願いしたい、そう思って頂けるような場所がグループホームであればと思っています。

職員もご本人やご家族の期待を受けながら、「こういう生活がしたい」などのニーズに応えられるような支援を目指していきたいと思っています。



外観



中のようなす

かがやき神戸に出会って ～支えてくださる方の思い～

「家族を含めて見守りに感謝」

北家族会 菅 政恒 (かん まさつね) さん



朋子が中学2年生の秋(震災の年)に発病。何とか普通高校に無理やり入学できたものの、校舎内で叫び回り、問題児であった。公文に通っていたこともあり、勉強だけは他の人達よりマシだったので「皆さんよりよく勉強している」と先々から生徒のみなさんに伝えられていた。

しかし、下校時になると、そのまま駅近くのベンチに一人座ったり、寝転んだりしていつまでも帰宅しない。迎えに行き連れて帰る。又、途中、見知らぬ人に車で連れ回されたりと、色々問題があった。このままではと高校2年生の時、中退する。

ただ、家にずっと居るわけにもいかず、先輩の奥さんの紹介で須磨区の施設に入所する。この施設は個人経営で自分の娘さんの為に作ったものであり、他の通所者のことは把握しないものであった。

そんな時、同じマンションの方から北区の方で、とても良い施設を見てきたけど、一度行ってみては?と声掛けしてもらった。家内と2人で出かけた。

それは今から20年程度前だった様に思われる。「かがやき神戸」の相談室で2人の職員さんと面談。

とても感じの良い対応をしてもらった事を覚えている。家内と「是非、ここに入所させて頂きたい」とお伝えした。

しかし、ここでも朋子はいろいろ問題を起こす。成人の日の式典が始まって皆さんの静粛な雰囲気の中で突然叫びだしたのだ。皆さん方の驚きとひんしゅくを買ってしまう。どうしようもない。所長さんから「朋ちゃんどうしたの?」と言われたのを覚えている。又、当時バスと地下鉄で通所していたが、その帰途、バスの車内で、ツバはきをして、運転手さんから注意されるも謝れず、もう、このバスには乗れません。と問題になる。

夏祭りの時も、公園で叫び、暴れだして抑えられなくなり、職員さんになだめすかして納めてもらう等々。

そんな時、所長さんから30歳を過ぎれば、すこし落ち着きますよ。と言われた。その通りで30歳を過ぎたころから暴れる事は大分すくなくなってきた。しかし、それでも仲間の持っているものや、している仕事が気になり、自分の仕事を放りだし、仲間のやっている者を取り上げたり、職員さんの持ち物を触ったり、トラブルが多い。そんな時にも職員の皆さん方が根気よく、朋子を諭し、間違いを正してもらっている。又、家族会の皆さん方からも「以前の朋ちゃん比べると随分よくなってきたよ」と言われ…、そう言われてみると、大分落ち着いてきている様にも思われる。ただ余震のように、時々以前のような叫びやあばれが現れることがあり、びっくりするが、それが徐々に収まってきてくれることを願っている。

そんな中でグループホームの話が…。将来、我々親が居なくなった時に一人で生活できるのか?

それは、家族会の皆さま方と同じ心配事。いくら悩んでも、これだけではどうしようもない。我々の出来ることは一日でも長く、明るく、元気に生きていく事。これが親の勤めかと考える。

そんな時、職員の皆さんから朋子のことだけでなく、我々家族の事まで含めてはげまし、心配して下さい。この事は涙が出てくる程うれしい。

本当に皆様ありがとうございます。これからも我々、明るく元気に生き生きと頑張りすぎない様に頑張っていきたいと思っています。これからもよろしくお願いいたします。

かがやき神戸に出会って～職員の思い～

「かがやき神戸と歩んだ日々」

地域活動支援センター虹の里 センター長 梅木 さやか



私がかがやき神戸と初めて出会ったのは、大学4年生の夏、社会福祉協議会主催の福祉就職フェアでした。中学生の頃から保育士を目指しており、就職も保育園を考えていました。しかし、大学3年生の時に精神科病院のソーシャルワーカーをしている先生のゼミに入ったことをきっかけに、神戸市で初めての精神障害者授産施設「なでしこの里」や精神障害者地域生活支援センター「虹の里」を開設するという、かがやき神戸の取り組みに興味を持ちました。そしてより詳しく話を聞いてみようという思いでブースに足を運びました。

その後、なでしこの里共同作業所での実習や採用試験を経て、施設が開所した1999年4月に入職しました。

最初の2年間は、なでしこ弁当の担当でした。私を含め、ほぼ調理経験のないメンバーばかりだったため、まずは野菜の切り方から練習を始めました。見たこともないような大きな鍋や調理器具に悪戦苦闘しながら、慣れない運転でメンバーさんを乗せ、弁当の配達や弁当箱の回収を毎日行いました。寝ている時でさえ厨房で弁当を作る夢を見るほど、無我夢中の日々でした。

失敗もたくさん経験しました。揚げ物をしている最中に火柱が立ち、まつげがすべて燃えてしまったこともあります。最近も、一緒になでしこ弁当を作っていたメンバーさんと当時の話をすることがあり、「あの後、ちゃんとまつげ生えてきた？」と、今では笑い話になっています。あの2年間は、本当に鍛えられた時間だったと思います。

その後、西区内の事業所を数箇所異動しましたが、虹の里での勤務が一番長くなりました。いろいろなことがありましたが、たくさんの方との出会いと別れを通じて、「自分らしく生きることの大切さ」を学びました。

現在はセラピー（芸術活動）の担当もしています。皆さんの芸術作品には、色使いや表現に個性があり、とても惹きつけられます。作品展を開催したり、商品化を進めたりしながら、かがやき神戸のセラピー活動を広めていきたいと考えています。

最後になりますが、我が家で飼っているインコともなでしこの里で出会いました。もともとは施設で預かっていたのですが、飼い主の方が引き取りに来られないうちに数年が経ち、我が家で迎えることになりました。我が家に来て19年、推定年齢25歳のおじいちゃんインコです。寝る時間が増え、もう飛べなくなりましたが、毎日私たちに癒しを与えてくれます。嬉しいことに昔を知っているメンバーさんに「鳥は元気にしてる？」と聞いていただくことがあるので、最近の写真載せて終わりたいと思います。



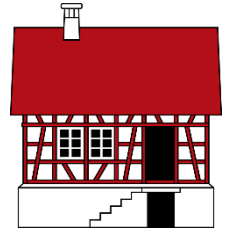
25歳になっても元気！

夢ホームプロジェクト Part13

ひとつひとつ、丁寧に

2024年10月に神戸市福祉局との懇談で現在進めているホーム建設の計画に対し、「概ね問題がない」との回答をいただき、本格的な図面作成にはいることになりました。これまで土地の取得から、何度も相談に乗っていただいていた設計事務所の嶋本先生に図面を作成していただきました。その図面を基に家族、職員と何度も意見交換をしてきました。多くの要望や意見が飛び交い、最終的にはほとんど新しい意見がでないところまで話し込むことができました。

このみんなの思いが詰まった図面を形にするには、まだまだクリアしないといけない壁はたくさんあります。その壁を一つ一つ丁寧にクリアしながら進めたいと思っています。次は、市街化調整の縛りをとる作業に移ります。2025年夏の国庫補助申請に向け何とか計画を達成していきたいと思っています。



法人・支援する会の動き 2025年4月～6月

4月1日

辞令交付式

1名の新卒の方が入職しました。

4月16日

支援する会 事務局会議

総会の議案書について話し合いました。

4月23日

理事会

- 議案第1号 2024年度 総括
- 議案第2号 2024年度 決算
- 議案第3号 法人監査報告
- 議案第4号 役員の提案
- 議案第5号 評議員会の開催と議事

5月10日

きょうされん兵庫支部総会

支部総会に複数の職員が参加しました。
戦争体験の講演会がありました。

5月22日

支援する会 運営委員会

運営委員の方と総会の議案書や役割分担について話し合いました。

6月7日

あじさいまつり

あじさいまつりを開催しました。たくさんの地域のお子さんにきていただきました。



あじさいまつりのようす

6月9日

評議員会

- 議案第1号 2024年度 総括
- 議案第2号 2024年度 決算
- 議案第3号 法人監査報告
- 議案第4号 理事の選任

6月9日

理事会

- 議案第1号 理事長の選任
- 議案第2号 常務理事の任命
- 議案第4号 理事の選任



支援する会たより

～社会福祉法人かがやき神戸を支援する会 第27回総会の報告～

2025年6月25日(水) 16時から、北区施設「とまり木」を会場に支援する会の総会を開催した。またZOOMで発信した。参加者は会場40名、ZOOM40名であった。

支援する会の池山会長と法人の松原理事長から挨拶があった後、議長に西区職員石破さん、書記に北区職員の木村さんを選出し、第1部総会議事を進めた。

支援する会の2024年度の活動報告、決算報告、および25年度の活動計画、予算案はすべて賛成多数で承認された。途中、法人への1000万円寄付について北区で取り組んでいるグループホーム建設の担当職員八幡さんからの状況説明があった。

第2部はコカリナグループのミニコンサート。支援する会運営委員山本さんを中心にした会員9名の演奏は、参加者の心に響くやさしい音色であった。拍手！

そして第3部は、北区職員の松本さんの講演「優生保護法問題の全面解決に向けた動き」があった。昨年7月3日の最高裁判決での歴史的勝訴と補償法に向けての取り組み状況が報告された。その上で「今、私たちができること」として、①優生保護法問題を知り学ぶ、②周りの人と偏見、差別について話し合う、③国に約束を守らせる、④国の責任を周りのみんなに伝える、ことが大切だと強調された。

今回の総会は3部構成で盛沢山だったが、1時間半が短く感じられるほど充実した内容であった。支援する会全体がこれからの元気をもらった集まりになった。

「平和のつどい」へのお誘い

かがやき神戸を支援する会では、今年も「平和のつどい」を開催します。朗読を通じて、平和の大切さを今一度考えてみませんか。朗読後は自由参加で感想や思いを語り合しましょう。

2025年 **8月18日(月)** 14:00～14:30 (朗読)

14:30～15:00 (語り合い)

平和の朗読鑑賞 (虹の里朗読サークルメンバー・木村章子氏 他)

「してはならぬこと」 松永伍一 作

「象のはなし」 秋山清 作

「あの日の授業-新しい憲法のはなし」 笠木透 作

「連帯と祈り」 ふじいかつのり 作

「字のない葉書」 向田邦子 作

「憲法のこころ」 井上ひさし 作

会場：「ミナでしこ」2F

参加費
無料



QRコードからのお申込みはこちら →



Zoom
あり



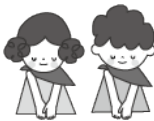
支援する会に会費を
納入いただいた方

(2025年2月15日～5月31日までに
更新／入会された方 順不同・敬称略)

松本多仁子 松本堯久 松本祐子 松本朋大
松本美咲 清水敬一郎 石倉勝 石倉良太
石倉旬子 谷口紀子 高島たづ子 江口敬子
山本博子 山本雅彦 古井孝志 中西加代子
中西立夫 中西剛史 照喜名聡子 永藤敬司
梅木さやか 加藤美砂緒 南万里 南里佳
藤原裕子 藤原桃加 前田みよこ 桑原敦文
安田耕平 池山隆元 池山美代子 大西月美
桑原より子 小見山純 千葉恒世 千葉眞弓
千葉陽平 井上恭子 岩橋篤史 岩橋文子
松田宣男 松田美代子 松田明大 山本吉廣
安達由美子 菅政恒 繁田桂子 繁田裕之
上地香織 上地貴正 中田八重子 佃正信
津村ゆかり 森戸和雄 平尾一幸 平尾輝子
中村志津子 柴田康子 市野紀代 市野元彦
市野実織 金谷かほる 上田学 上田直美
上田航矢 北山真吾 北山紗菜 南英夫
南君子 南恒司 神田陽子 藤田万里子
認定NPO法人ぱれっと 川田晋

ご協力ありがとうございます

(すでに更新された方で、お名前の載っていない方は次回掲載させていただきます)



☆会費納入のお願い☆

●社会福祉法人かがやき神戸を支援する会
の2025年度会費(2025年4月～2026年3月)
納入をお願いいたします。

★ かがやき神戸を支援する会
2025年 年度会費 1000円

会費振込先(郵便振替)

口座記号口座番号:00930-1-67354

加入者名:社会福祉法人かがやき神戸を

支援する会

かがやき神戸

検索



かがやき神戸のホームページも
ご覧ください！！



【編集後記】

共働きなので、少しでも家事の負担を減らそうとルンバを買いました。いつも決まった時間に動き出し、部屋中をきれいにしてくれます。しかし、我が家はモノが多い。少し油断すると、床に置いてあるモノを巻き込み止まる・・・。モノに乗り上げて止まる・・・。そうこうしているうちにセンサーが壊れ修理する事に。今はルンバが動き出すと、行き先を見て、先回りして荷物をどける日々です。これふつうに掃除機かけた方が楽かも・・・。(松田)

2025年 8月号 (No.107)

編集人：(社福)かがやき神戸を支援する会

定価：1部50円

事務局：神戸市北区山田町下谷上字西丸山

20-30 (かがやき神戸北事務所)

TEL：078-582-5544

FAX：078-582-5526

発行人：関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町2-2

東興ビル4F